

主権者教育ワークショップ補助教材

ま ち づ ぐ り
ゲ ー ム

～市長になろう～



令和2年3月

金沢市選挙管理委員会
金沢大学法学類投票行動論研究室

はじめに

この補助教材は、主権者教育のためのワークショップ及び模擬投票を高等学校において実施できるように、金沢大学法学類投票行動論研究室がこれまで石川県内の自治体の選挙管理委員会と協力して実施してきたワークショップ及び模擬投票をもとにしてまとめたものです。

このワークショップでは、カードやシートを用いてグループごとに理想のまちづくりについて話し合っ発表し、その発表をもとにどのグループのまちづくりが良かったかについて模擬投票を行います。これらの作業によって、自分たちの地域や社会のことに興味を持ってもらうとともに、地域や社会の方向性を決める選挙に興味を持ってもらうことをねらいとしています。

この教材が、貴校の生徒の地域や社会への興味や選挙への興味を高めることに少しでもお役に立てれば幸いです。

金沢市選挙管理委員会

金沢大学法学類投票行動論研究室





主権者教育ワークショップ補助教材 活用に当たって

1. ワークショップの構成



この主権者教育ワークショップは、「まちづくりゲーム」と「模擬投票」の2ステップで構成されています。

<まちづくりゲーム>

有権者となれば必要となる、公共的な事柄に自ら参画しようとする意識を育むためには、身近な地域の課題を見出し、解決する方法を生徒自身が考える機会を設けることが大切です。

このゲームでは、架空のまちにおいて、様々な背景を持つ登場人物の1人になりきり、「予算内」で理想のまちをつくる方法を考えます。

<模擬投票>

「まちづくりゲーム」において、生徒自身が考えた理想とする「まちづくりのテーマ」や「政策や建物」を元に、架空のまちの選挙（模擬投票）を行います。

選挙で投票することは、より良い社会、住み良いまちづくりに参加するための、最も重要な手段です。「模擬投票」を通じて、まちづくりと選挙がどのように関わっているのか考えるきっかけとし、同時に選挙に関する実践的知識を身につけます。

2. 指導上の留意点



(1) 時間配分

このワークショップは、「まちづくりゲーム」と「模擬投票」を合わせて50分程度を目安に構成されていますが、余裕を持った話し合いを行うため、可能であれば、2コマ分の時間をとって実施することを推奨します。

あるいは、「まちづくりゲーム」のみ単独で実施したり、事前学習とするなど、実情に応じて自由にアレンジしていただいても結構です。

(2) 班編成

「まちづくりゲーム」では、「個人ワーク」と「グループワーク」を行います。グループのメンバー全員が話し合いに参加できるよう、1班5～6人編成とするのが適当です。

(3) 必要なアイテム

ワークショップで実際に使用する各種シートやカード類は、下記URLの金沢市選挙管理委員会のホームページからダウンロードし、準備してください。

また、金沢市選挙管理委員会では、模擬投票で使用する用品等の貸し出しも行っております。

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/43000/>



まちづくりゲーム ～市長になろう～

事前に準備するもの

【人数分】

- ・個人用ワークシート
(9頁)
- ・建物シート
(8頁)

【グループごと】

- ・はさみ
- ・のり又はセロハンテープ
- ・マジック等筆記用具
- ・役カード(7頁)切り離して使用
- ・建物カード(8頁)切り離して使用
- ・発表用シート(10頁)模造紙等

【個人ワーク】(5分程度)

あなたは、架空のまちの住人です。

様々な背景を持つ登場人物の一人になりきり、「予算額：5億円」を使って、自由にまちをデザインし、あなたにとって住み良い理想のまちをつくってください。

ゲームの進め方

- ①各グループに配布した「役カード」を引き、それぞれ役になりきってみよう。
- ②まずは、「建物シート」を見てみよう。全部で20個の建物があり、それぞれに「予算額」が書かれている。この中から、あなたの理想のまちに必要な建物を選択しよう。
- ③住み良いまちづくりのために、必要な「政策」を自由に考えよう。
「政策」の「予算額」は、1つ：2億円とするよ。
- ④まちづくりの<条件>は次のとおり。「個人用ワークシート」に、政策を立案した理由、建物を選んだ理由を書いてまとめてみよう。

【条件】

- 予算額：5億円以内
- 政策：1つ以上(1つ2億円)



まちづくりゲーム
個人用ワークシート

役 高校生

予算額 計 5 億円 (政策と建物をあわせて5億円以内)

政策(1つ2億円、1つ以上)

- ・大学生に返済不要の奨学金を支給！(2億円)

建物

- ・大学(2億円)
- ・図書館(1億円)

政策を立案した理由と建物を選んだ理由

【グループワーク】(15分程度)

この架空のまちには、様々な悩みや要望を抱えた住人たちが暮らしています。あなたもその一人です。

個人ワークで引いた「役」になりきり、他の住人たち(グループメンバー)と話し合っ、みんなにとって住み良いまちをつくってください。

「予算額：10億円以内」です。

ゲームの進め方

- ①まずはグループの代表者を決めよう。
- ②個人ワークで引いた「役」を引き継いで、グループの「まちづくりのテーマ」を考えよう。「〇〇にやさしいまち」、「□□に強いまち」など、まちづくりの大きな方向性を決めると、後の作業がしやすくなるよ。
- ③各グループに配布されている「建物カード」から、自分たちのまちに必要な建物を選択しよう。
- ④「政策」を考えよう。「政策」の「予算額」は、1つ2億円とするよ。
- ⑤各グループに配布されている「発表用シート」にまとめてみよう。
グループワークでのまちづくりの<条件>は次のとおり。

【条 件】

- 予算額：10億円以内
- 政策：1つ以上(1つ2億円)
- まちづくりのテーマを決める

〇班 金沢太郎

テーマ

若者にやさしい、あたたかいまちづくり!

政 策

- ・ 2人目の子供が生まれた家庭に50万円を給付
- ・ 市内の大学生を対象に給付型奨学金を新設

建 物



【発表】(各グループ3分程度)

各グループの代表者は、この架空のまちの市長選挙に立候補する候補者として、グループでまとめた、まちづくりの案を発表してください。

どのようなまちが、最も支持を得られるでしょうか。

参考資料

◇「政策」の考え方

「政策」は生徒自身に立案させることを原則としますが、いくつかの地域・行政課題を参考として例示します。

大分類	例
産業の活性化	<ul style="list-style-type: none">・ 中小企業の技術開発を支援・ 職人の育成・ 若者のUターン就職を促進
少子高齢化対策	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもの医療費無償化・ 介護人材の育成・ 運転免許証を返納した高齢者の移動を支援
災害に強いまち	<ul style="list-style-type: none">・ 防災に関する教育を学校で実施・ インフラの補修や整備を促進・ 中山間地域の除雪体制強化
環境対策	<ul style="list-style-type: none">・ 新エネルギー開発研究に支援・ 市街地への自家用車乗り入れを規制・ 資源ごみの再利用を促進
観光振興対策	<ul style="list-style-type: none">・ 公共交通機関の利便性向上・ 通訳ボランティアの育成・ 地元住民の生活環境保全
農業振興対策	<ul style="list-style-type: none">・ 農産物の新品種開発とブランド化を推進・ 学校給食における地産地消の推進・ 農業支援ボランティアを育成

◇グループワークの進行についての留意点

- ・ 自分の通う学校のあるまち（金沢市）を念頭に置いて、まちづくりを考えるよう指示してください。
- ・ グループにおける話し合いでは、全員が自由に自分の意見を述べ、他人の意見に十分耳を傾け、他人の考えを尊重するような場づくりが大切です。
- ・ 議論する中では、あらかじめ割り振られた「役」を超え、個々が地域住民の一人として、根拠ある主張と意見の違いを超えた提案を通じて、合意形成に至るよう、指導してください。
- ・ まちづくりのテーマ設定や、政策の立案等について、議論が停滞して生徒間で解消することが困難な場合は、例を示すなどして指導してください。

◇「役カード」 ※切り離して使用します。

※金沢市選挙管理委員会のホームページからダウンロードできます。



お父さん



お母さん



おじいちゃん



おばあちゃん






高校生



大学生



◇「建物カード」 ※切り離して使用します。
 ※金沢市選挙管理委員会のホームページからダウンロードできます。

<p>消防署</p>  <p>2億円</p>	<p>病院</p>  <p>2億円</p>	<p>警察署</p>  <p>2億円</p>	<p>ジム</p>  <p>1億円</p>
<p>大学</p>  <p>2億円</p>	<p>風力発電所</p>  <p>2億円</p>	<p>保育園</p>  <p>1億円</p>	<p>児童館</p>  <p>1億円</p>
<p>バス停</p>  <p>1億円</p>	<p>体育館</p>  <p>1億円</p>	<p>公民館</p>  <p>1億円</p>	<p>競馬場</p>  <p>3億円</p>
<p>公園</p>  <p>1億円</p>	<p>就職支援施設</p>  <p>1億円</p>	<p>図書館</p>  <p>1億円</p>	<p>老人ホーム</p>  <p>1億円</p>
<p>温泉</p>  <p>1億円</p>	<p>動物園</p>  <p>1億円</p>	<p>水族館</p>  <p>1億円</p>	<p>?</p>  <p>1億円</p>

◇「個人用ワークシート」

※金沢市選挙管理委員会のホームページからダウンロードできます。

まちづくりゲーム

個人用ワークシート

役



予算額 計 億円 (政策と建物をあわせて5億円以内)

政策(1つ2億円、1つ以上)

建物

政策を立案した理由と建物を選んだ理由

◇発表用シート(例) ※発表の際は、適宜模造紙等を使用してください。

〇班 金沢太郎

テーマ

若者にやさしい、あたたかいまちづくり!

政策

- ・2人目の子供が生まれた家庭に50万円を給付
- ・市内の大学生を対象に給付型奨学金を新設

建物



模 擬 投 票

事前に準備するもの

【学校で準備するもの】

- ・鉛筆(投票用紙記載用)
- ・セロハンテープ
- ・氏名掲示紙(14頁)
- ・クラス名簿(名簿対照で選挙人名簿として使用)(16頁)
- ・投票所入場整理券(15頁)

※クラス名簿と投票所入場整理券は省略しても実施できます(13頁参照)。

【選管から貸し出し可能なもの】

- ・投票箱(1個)
- ・記載台(1～2台)
- ・模擬投票用紙

※貸し出しを希望する場合は、選挙管理委員会までお問合せください。

【模擬投票】(1クラスで実施する場合、10分程度)

「まちづくりゲーム」で、各グループがまちづくり案をまとめました。この「模擬投票」では、各グループの代表者が候補者となり、まちづくりの案を争点に、投票を行います。

投票の流れ

実際の選挙では、公職選挙法という法律に基づき、「投票管理者」、「投票立会人」等、様々な役割を担う人が投票に関与しています。

模擬投票では、“実際の選挙さながらの雰囲気”で生徒が投票を体験することが望ましいですが、事前準備や投票事務係員の配置などについては、実情に応じて、アレンジして実施してください。

以下に、実際の投票における用語解説と投票の流れを掲載します。

投票所入場整理券

選挙の際、選挙管理委員会から全有権者あてに郵送される。選挙人の氏名、指定された投票所名等が記載されており、「投票所入場整理券」を持参すると、受付(名簿対照)がスムーズにできる(無くても本人であることが確認できれば投票できる)。

選挙人名簿

選挙権のある人をあらかじめ登録し、投票の受付の際照合して、受付に来た人が選挙人であるか確認するための名簿。住民基本台帳の記録を元に選挙人が登録される。

名簿対照係

投票所に入ったら、最初に「名簿対照係」へ。
選挙人は、「投票所入場整理券」を「名簿対照係」に渡す。
「名簿対照係」は、「選挙人名簿」との照合を行い、名簿に載っていることが確認できれば受付を行う。

投票用紙交付係

「名簿対照係」による受付が済んだら、選挙人は「投票用紙交付係」に進む。ここで投票用紙を受け取る。

投票記載所

投票用紙に記載する場所。通常は、「投票用紙記載台」を使用する。

実際の選挙では、「投票用紙記載台」に「氏名掲示紙」という候補者名等が書かれた紙を貼り、記載誤り等がないように配慮されている。

投票管理者

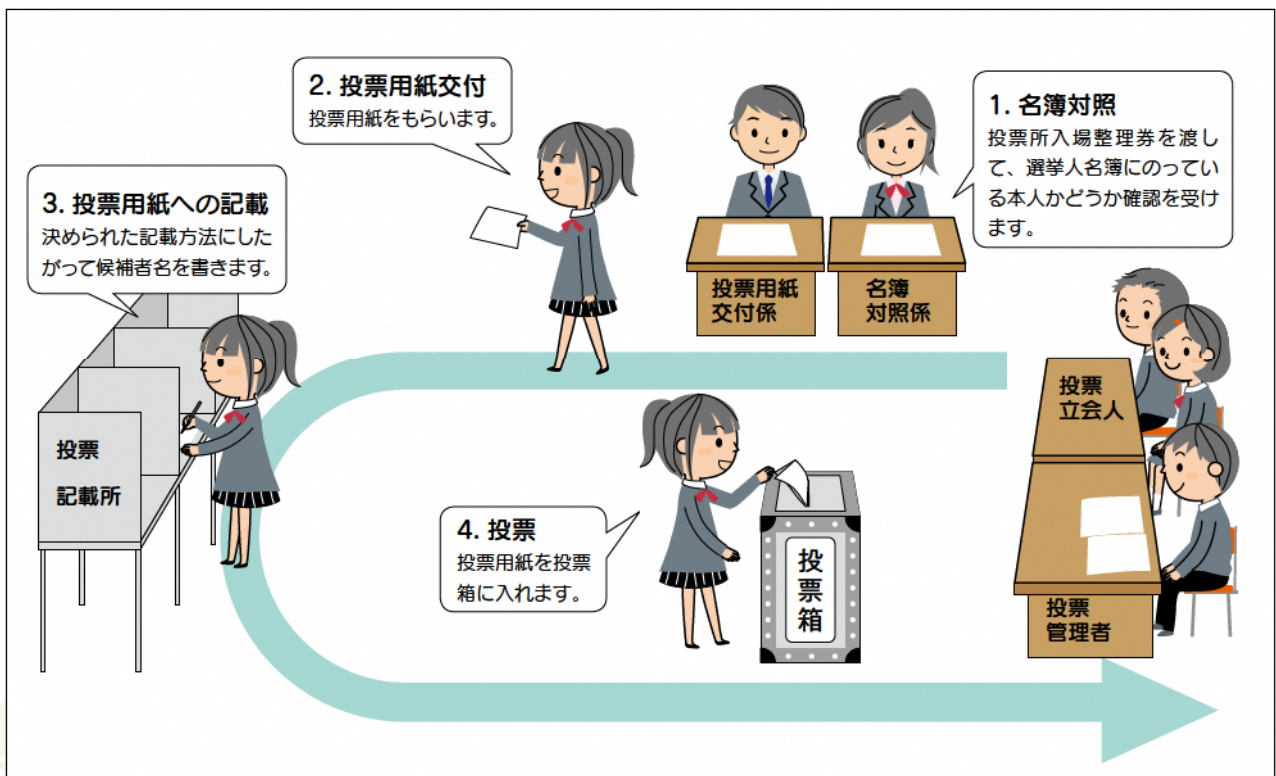
投票事務の最高責任者。選挙人に正しい投票を行わせるようにするとともに、投票事務が公正的確に処理されているかどうか等について常に注意しなければならない。

なお、実際の選挙では、投票管理者の宣言により投票所の開閉を行う。

投票立会人

有権者の代表として、投票事務の執行に立ち会い、投票が公正・適正に行われているかを監視する。

投票所の配置例



◇模擬投票の進行

【名簿対照を行う場合】

〈事前準備〉

- ①投票所入場整理券（15頁）を配布する（あらかじめ氏名・番号を記載して配布するか、生徒自身に記載させる）。
- ②氏名掲示紙（14頁）の「候補者氏名」欄に、各グループの代表者の氏名を記載し、「投票記載所」付近に掲示する。
- ③名簿対照係にクラス名簿を、投票用紙交付係に投票用紙を配置する。

〈投票の流れ〉

- ①投票する生徒は、名簿対照係に投票所入場整理券を渡す。
- ②名簿対照係は、投票所入場整理券に記載されている氏名と、名簿の氏名を対照し、名簿に受付済みのチェックをする。
- ③名簿対照が済んだら、投票用紙交付係が投票用紙を交付する。
- ④記載台で、「氏名掲示紙」を参考に、候補者の氏名を記載し、縦に半分に折る。
- ⑤投票用紙を投票箱に入れる。

【名簿対照を行わない場合】

〈事前準備〉

- ①氏名掲示紙（14頁）の「候補者氏名」欄に、各グループの代表者の氏名を記載し、「投票記載所」付近に掲示する。

〈投票の流れ〉

- ①投票する生徒に、投票用紙を配布する。
- ②記載台で、「氏名掲示紙」を参考に、候補者の氏名を記載し、縦に半分に折る。
- ③投票用紙を投票箱に入れる。

参考資料

◇氏名揭示紙 ※金沢市選挙管理委員会のホームページからダウンロードできます。
各グループの代表者の氏名を「候補者氏名」欄に記載し、「投票記載所」付近に掲示します。

5 班	4 班	3 班	2 班	1 班	党 派 別
長 野	新 潟	福 井	富 山	石 川	候 補 者 氏 名
○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	

模
擬
選
挙
候
補
者

模
擬
選
挙
管
理
委
員
会

◇模擬投票用紙(選挙管理委員会から貸し出し可能)

(注意)

こうほしゃしめい
候補者氏名

一 候補者の氏名は、欄内に一人書くこと。

二 候補者でない者の氏名は、書かないこと。

模擬投票

◇投票所入場整理券の例 ※金沢市選挙管理委員会のホームページからダウンロードできます。

模擬選挙

投票所入場整理券

投票日 月 日 ()

あなたの投票所	
名称	〇〇高等学校
名簿	〇組 〇番
氏名	金沢 太郎

模擬選挙管理委員会

◇クラス名簿(選挙人名簿)の例

番号	名 前	か な
1	金 沢 太 郎	かなざわ たろう
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

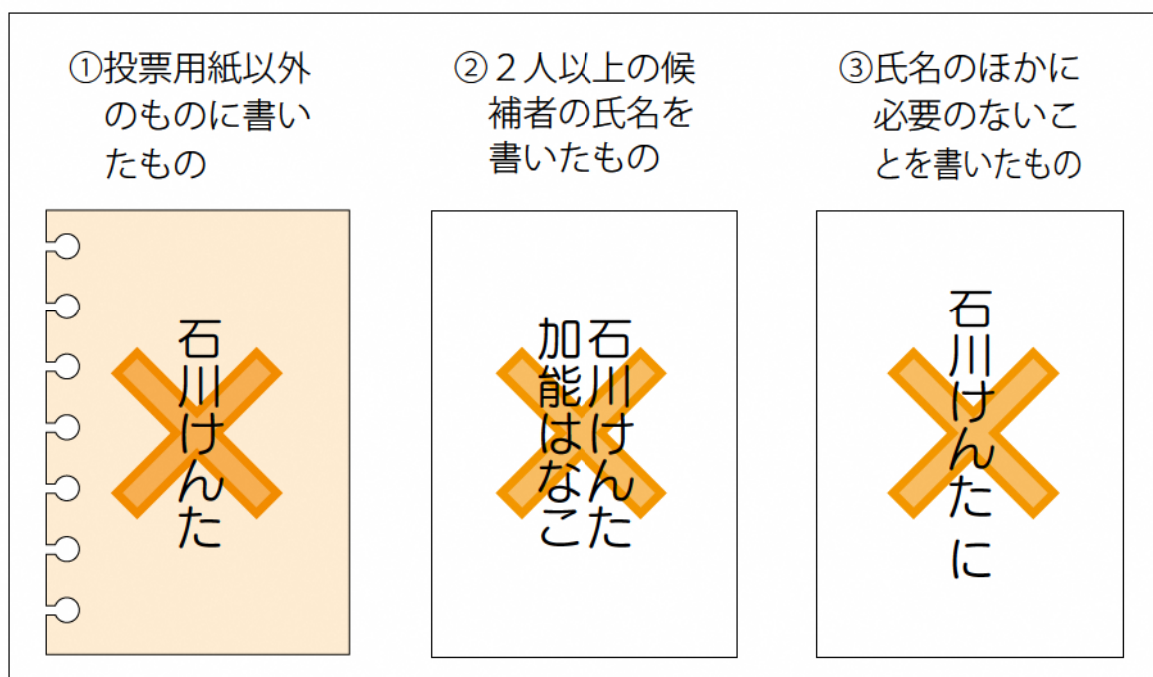


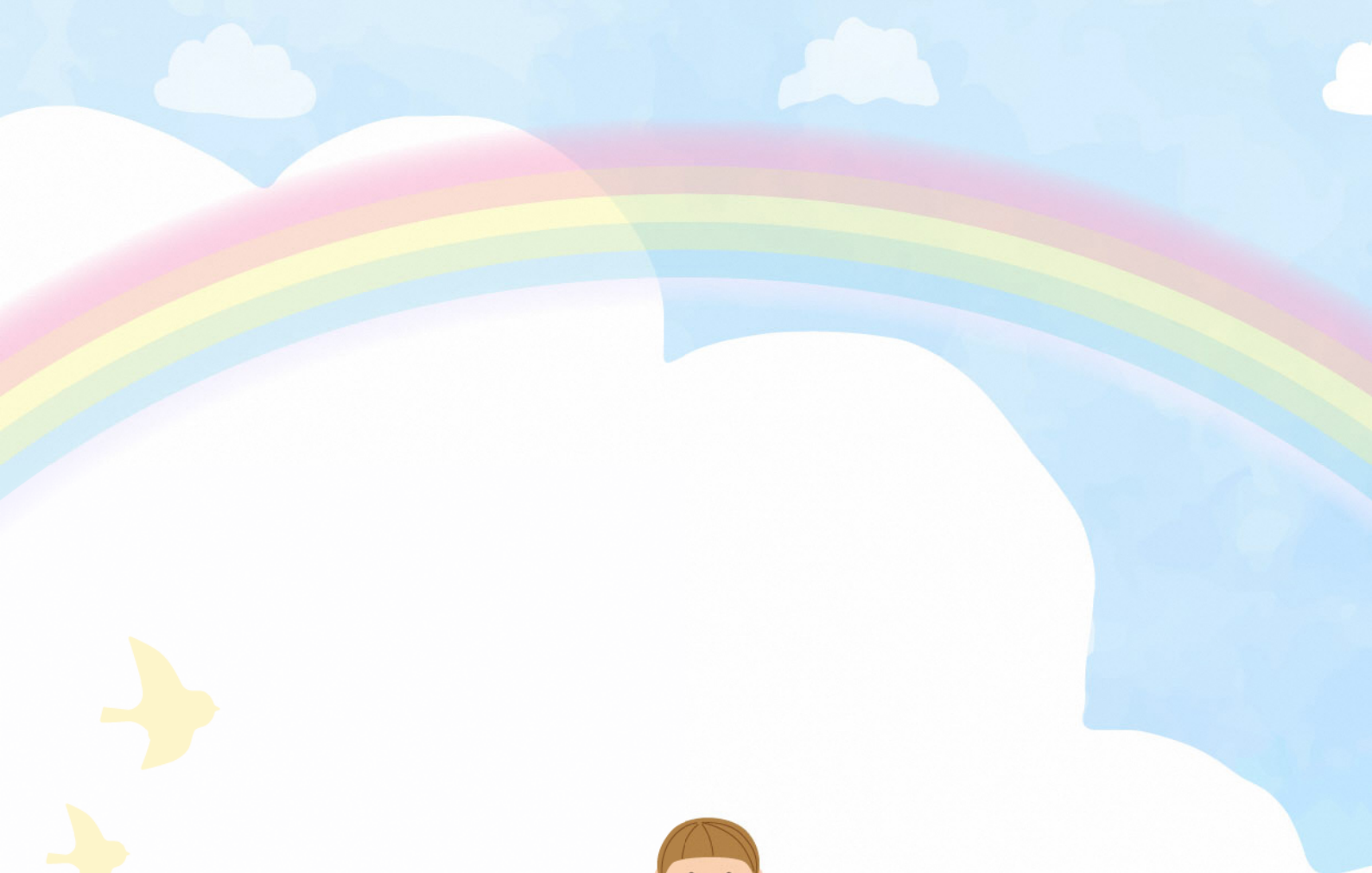
◇模擬投票についての留意点

- ・12頁の図を参考に、投票の一連の流れに沿った動線にすると、投票がスムーズにできます。なお、「投票管理者」、「投票立会人」、「名簿対照係」、「投票用紙交付係」は、適宜省略しても実施できます。
- ・12頁の図を参考に、投票の一連の流れを生徒に事前説明すると、イメージしやすくなります。
- ・投票所入場整理券を用いずに名簿対照を行う場合は、名簿対照係に氏名を口頭で伝えます。名簿対照係は、聞き取った氏名を名簿で確認し、受付済みのチェックをします。
- ・投票用紙に記載する候補者名は、漢字・ひらがな・カタカナのいずれでも構いません。ただし、記載誤りを防ぐため、「氏名掲示紙」に掲載されているとおりに記載するよう指導してください。
- ・投票用紙には、候補者の氏名をはっきりと書かなくてははいけません。各々の一票が無効にならないよう、あらかじめ無効票の例を説明し、候補者名を正しく記載するよう指導してください。

〈無効票の例〉

- ①投票用紙以外のものに書いたもの（下図①）
- ②2人以上の候補者の氏名を書いたもの（下図②）
- ③氏名のほかに必要のないことを書いたもの（下図③）
- ④立候補していない人の氏名を書いたもの
- ⑤白紙の投票





主権者教育ワークショップ補助教材
まちづくりゲーム～市長になろう～

令和2年3月発行

発行 金沢市選挙管理委員会
〒920-8577 石川県金沢市広坂1丁目1番1号
TEL : (076)220-2077
<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/43000/>

編集 金沢大学法学類投票行動論研究室

